

## 令和7年度第2回三原市民体育大会あり方検討会 協議録

日 時：令和8年2月16日（月） 18時30～20時00分

場 所：三原市役所 304・305・306 会議室

出席者：○地区参加者26名（14地区）、★スポーツ振興課3名、●スポーツ推進委員3名

スポーツ振興課長の挨拶及び出席者の自己紹介の後、協議へ入った。

### 協議概要

第1回検討会のご意見及びアンケート結果、不参加地区へのヒアリング、改善案、今後のスケジュールを会議資料を用いて説明。本検討会では、今後の大きい方向性を決定した。

### 決定事項

- ・入場行進は廃止。
- ・現在の競技は残し、出場できる競技に各地区が選んで出場する形にする。
- ・玉入れは参加者が集まりやすいため、男女混合にせず各クラス女子及び男子を一度に実施。ただし、競技スペースの確認が必要なため、第3回あり方検討会で可否を示す。
- ・小中学生混合リレーとジグザグボール蹴り競争は競技として残し、年齢の区分けを外す。
- ・ルール説明は集合場所で実施。
- ・個人枠の追加、ふるさと参加枠の拡大。
- ・全体の競技でルールを緩和するが、一定のルールは定める。
- ・本気クラスとエンジョイクラスには分けない。
- ・参加地区が2クラスで収まる場合は、3クラスから2クラスに変更。
- ・選手名簿の提出は不要。報告は性別と年齢のみ。
- ・種目の追加はしない。
- ・種目毎に順位をつけ、競技終了毎に発表する。
- ・午前中で終了を目指し、昼休憩なしで実施。
- ・少年団や学校に対して、当日参加に協力してもらうよう依頼する。

### 各地区からの意見

#### (1) 競技の追加や変更について

- ・ふれあい大会が基本で、ルールを簡素化し、採点はそれぞれの競技で行う。
- ・ルールはふれあい運動会レベルにするが、順位を付け、クラスの入替えを行う。抗議はできない形にする。あからさまなところは審判長が判断する。
- ・ルールを緩和した案を市が作成し提示した上で、協議していく方がいいのでは。
- ・競技毎に点数をつけ、各種目毎に表彰する。出場できる競技毎に出場する。
- ・ルールの緩和については各地区共通の意見。
- ・失格という言い方を変更すべき。また、失格した地区を1点にするのではなく、1点毎減点する。
- ・次回に行う競技を決定してから詳細な緩和を決めていくべき。

- ・ジグザグボール競争はどちらでも周回できるようにすべき。
- ・個人枠参加については賛成。
- ・小中学生混合リレーを廃止については、大人だけの市民体育大会になってしまうのでは？子どもがくるから親もくる。小中学生混合リレー、ジグザグボール蹴り競争は子どもが出場する競技として残し、子どもが集まらない地区は参加しないことを可とする。
- ・昼までに終了して、時間に余裕があれば、来場者向けのイベントをしてもいいのでは。

## (2) 本気クラスとエンジョイクラスについて

- ・同様の競技をするのに本気クラスとエンジョイクラスで分け、失格があるクラスと失格がないクラスに分けると、市民体育大会として示しが見つからないのではないか。競技のルールを緩和した上で、失格の基準は全クラス統一した方がいい。
- ・地区の本気度でクラス分けをしてほしい。エンジョイクラスと本気クラスは必要。
- ・順位を競う本気クラスと失格のないエンジョイクラスに変更したとしても、どちらもルールを緩和すべき。
- ・どちらのクラスに参加したいかは、地区の役員と協議した上での回答となる。この場での回答はできない。
- ・クラスで本気クラスとエンジョイクラスにわけるのはなく、本気競技とエンジョイ競技にわけるときではないか。人集めが難しい競技のみルールを緩和。
- ・前回の市民体育大会で、ABCクラスに分かれていたが、すでにAはルールが厳格で真剣BCクラスはわきあいあいという形ですでにしていたのでは？  
ルールが難しいというのは、実施する種目が難しいためにルールが複雑化しているのではないか。ボール運びなどが複雑。人を集めるのに、本気とエンジョイのクラス分けで人を誘えるわけがない。適当でいいから参加してください、参加者集めの際にいいにくい。

## 今後のスケジュール

- ・次回の開催は3月13日（金）18時30分から市役所3階で開催。タイムスケジュール等の最終案の共有をする。

以上、20時00分終